

平成 29 年 10 月 10 日

各位

会社名 株式会社 TOKAI ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 鵜田 勝彦
 (コード番号 3167 東証第 1 部)
 問合せ先 執行役員広報部・IR 室担当 谷口 芳浩
 (TEL. 054-273-4878)

水・電気の完全自給自足を実現、近未来の住まいを提案する 「OTSハウス」の完成・公開開始について

株式会社 TOKAI ホールディングス（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長：鵜田勝彦）及び傘下の、(株) TOKAI、(株) TOKAI コミュニケーションズ、東海ガス(株)及び(株) TOKAI ケーブルネットワークの4社（以下、TOKAI グループ）は、近未来の住まい像を提案し、今後の生活関連サービスの開発・検証・実証を行うコンセプトハウス「OTSハウス」について、静岡県島田市にて構築しておりましたが、このたび施設が完成し、公開開始となったことをお知らせいたします。

記

1. 概要

TOKAI グループでは、ガス、インターネット、CATV、アクア、電気といったお客様の生活に密着した生活インフラサービスを幅広く提供し、また住環境分野においても住宅事業・リフォーム事業を展開し、お客様の生活を総合的に支える「Total Life Concierge」構想の拡充を図っています。

各サービスの拡充を図る中、TOKAI グループは、現在そして近未来の社会環境に求められる機能を備えた住宅の検討を進め、これを具現化する施設として静岡県島田市にコンセプトハウス「OTSハウス」の構築を進めてまいりました。

建築工事は平成 29 年 4 月の着工より順調に進み、OTSハウスに盛り込む各種機能の導入と合わせ構築が完了したことを受け、本日平成 29 年 10 月 10 日より公開開始いたします。

TOKAI グループは、このOTSハウスを通して様々な新サービス・新商品の開発・検証・実証を進めてまいります。また、お客様をはじめ、株主、取引先、地域社会、従業員など、多様なステークホルダーの皆様にOTSハウスをご覧いただき、TOKAI グループが考える「近未来の暮らし」像を提案してまいります。

2. OTSハウスの基本コンセプトと主要な機能

OTSハウスの「OTS」は「On the Spot」、「そこにいるだけで守られる家」という基本コンセプトを示しています。東日本大震災・熊本地震を機に、日本におけるライフライン・生活インフラのセキュリティに対する意識は大きく変わりました。万一災害等によって水・電気といった系統インフラが停止しても、普段通りの暮らしを送ることが出来る「家」、平常時においてもTOKAI グループがあらゆる生活インフラサービスをワンストップ提供することで、普段の暮らしをより安心・安全・便利・お得に過ごせる「家」。

この基本コンセプトを具現化するために、OTSハウスは、「水を守る家」「電気を守る家」「くらしを守る家」という3つを機能の柱として構築しています。

① 「水を守る家」

OTSハウスは、雨水を生活用水として利用し、上水道に頼らない「生活水の自給自足」を実現しています。OTSハウスの建物・敷地に降る雨水は、家族4人が1年間に必要とする水の約3倍※にもものぼります。効率的に雨水を集めるために、建物・中庭も特徴的なデザインとして、最大1万リットルの容量の雨水タンクに貯水、浄化システムによって生活水を生み出し建物内に供給します。さらに排出された生活排水についてもRO（逆浸透膜）装置によって純水にろ過し、再度雨水タンクに貯水し生活水として循環利用します。この生活水の循環を実現することで、生活排水の約40%を再利用し、生活水の自給自足を実現しています。

※当社検証データによる

② 「電気を守る家」

OTSハウスは、太陽光発電パネルとエネファームという二つの発電装置を備え、電気についても系統電力からの買電を必要としない「電気の自給自足」を実現しています。建物自体をより多くの太陽光発電パネルを設置出来るようにデザインし、出力9.9kWと一般住宅の約2~3倍の発電能力を持たせています。またエネファームもより発電効率を重視したSOF C型エネファームを採用し、常時安定した電気（出力0.7kW）を発電しています。

太陽光発電パネルで発電された電気は、昼間に余剰の電力を蓄電池に蓄えることで、夜間に必要な電気を賄いますが、一般的な家庭用の定置型蓄電池に加え、OTSハウスはさらに電気自動車も蓄電池としてアドオンしました。定置型蓄電池よりも蓄電能力が大きい電気自動車を蓄電池とすることで、系統電力と接続しなくとも瞬間的な使用電力量の増にも対応、平常時から系統電力を遮断し電気の自給自足を可能としています。

③ 「くらしを守る家」

OTSハウスは、TOKAIグループが提供する様々な生活インフラサービスを網羅して設置し、実際にご覧・ご体験いただくことも大きな目的としています。分散エネルギー・備蓄可能なエネルギーとして再評価されるLPガス。通信・放送分野として光ファイバーを活用した最大10Gbpsを実現した超高速インターネット・高精細な4K放送、安心・安全な飲料水を定期的にお届けする宅配水（ウォーターサーバー）サービス、家族・建物を守る最新のホームセキュリティなど、まさにTLC構想が具現化した姿として、TOKAIグループの営業員・コールセンターに連絡すればすべてのサービスのご利用・サポート・メンテナンスが完結するワンストップサービスの提供による安心・安全・便利を提案いたします。

また、今後進展する「すまいにおけるスマート化・ICT利活用」をにらみ、OTSハウスでは玄関ドアや各部屋のドアを顔認証技術で制御する仕組みや、スマート家電の一例として、姿見（鏡）において各種情報表示・利用を行う「スマートミラー」等の実証・デモを行います。

今後も各事業分野における新サービス・新商品の試験・実証を次々と実施し、モニター体験等のお客様参加型の取り組みも積極的に行うことで、よりお客様に受け入れられるサービスの創出と展開に取り組んでまいります。

3. 各種メーカー・事業者との協力強化による新商品創出の取り組みについて

OTSハウスは、今後水・電気の自給自足機能をはじめ、TOKAIグループの各事業分野における新サービス・新商品の創出・展開に積極的に取り組んでまいります。

特にOTSハウスの構築より強固な協力関係にある日本電気株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 兼 CEO：新野隆）とは、水・電気の自給自足については今後も継続的にOTSハウスでの各種利用・稼働データの収集・検証、その他サービス・商品においても具体的な販売に向けた共同検討を進め、様々なノウハウの蓄積を行い強力な商品性の構築に努めます。さらに各種機器・設備メーカー、サービス事業者との協力体制も構築していくことで、家庭向け、また商用・公共施設等向け等様々なサービス・商品の検討を進めて参ります。

4. OTSハウスの今後の予定について

OTSハウスは本日平成 29 年 10 月 10 日より公開を開始、各種機能の実証と並行してTOKAIグループのお客様をはじめステークホルダーの皆様幅広く取り組みをご覧いただくとともに、OTSハウスに盛り込んでいる各種商品・サービスのご提案を進めてまいります。（見学は完全予約制）

その後、実際にOTSハウスに宿泊・滞在してのモニター体験など、様々なイベントを開催いたします。詳細につきましては決定次第、下記ホームページにて随時情報開示してまいります。

OTSハウスホームページ：<http://ots.tokai.jp/>

5. OTSハウスの建築概要

建築用地：静岡県島田市ばらの丘 1 丁目 2-6

敷地面積：280.91 m²(84.97 坪)

延床面積：142.61 m²(43.13 坪)(木質構造パネル工法・2 階建)

6. OTSハウス外観・内観



(写真1：OTSハウス全景をドローンにて撮影。一方向に傾斜した屋根と広い中庭で雨水を効率的に集水。

中庭には最大1万リットルを貯水する雨水タンクが埋設されています)



(写真2：内観・リビングルーム。家族が集まることで省エネにつなげ、一階二階は大きな吹き抜けとすることで、空気の循環を促し空調によるエネルギー消費を抑制します)



(写真3：OTSハウスの夜景。自然を生かすパッシブデザインと自給自足機能を両立する印象的な外観・デザインとなっています。)

【OTSハウスに関するお問い合わせ先】

TOKAIホールディングス 経営戦略部 (担当：大井・木内・服部・鈴木)

TEL：054-273-4936 (受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:45)

ホームページ：<http://ots.tokai.jp/>

以 上